

日本気象学会第25期役員一覧

1. 理事

1) 常任理事 (13名)

浅井富雄 (理事長), 岡村 存 (理事長代理)
 荒川正一, 松野太郎, 竹内清秀, 河村 武, 村上
 勝人, 木田秀次, 安田延寿, 能登正之, 中村 一,
 古賀晴成, 村松照男

2) 理事 (14名)

菊地勝弘, 秋山 勉, 近藤純正, 吉田泰治, 武田
 喬男, 黒沢真喜人, 廣田 勇, 小松 巖, 光田
 寧, 佐橋 謙, 多田利義, 瓜生道也, 元田雄四郎
 石島 英

2. 監事 (2名)

関口理郎, 浜田忠昭

3. 評議員 (10名)

浅田暢彦, 内田英治, 岸保勘三郎, 菊地幸雄, 駒
 林 誠, 立平良三, 樋口敬二, 松本誠一, 山崎道
 夫, 山元龍三郎

4. 担当理事および委員

1) 庶務

担当理事: 中村 一, 荒川正一, 古賀晴成

2) 会計

担当理事: 能登正之, 村松照男

3) 「天気」編集

担当理事: 河村 武, 近藤純正, 村松照男
 委 員: 住 明正, 光本茂記, 藤谷徳之助, 甲
 斐憲次, 竹内義明, 操野年之, 嶋村
 克, 檜尾守昭, 中村晃三, 茶戸敏彦,
 松本逸平, 山田慎一, 栗原和夫, 饒村
 曜, 柴田誠司, 川真田正宏, 高瀬邦夫,
 大島宏美, 山田真吾

地区編集委員

北海道: 菊地弘明, 菊地勝弘
 東 北: 角田東洋男, 田中正之
 関 東: 森 秀雄
 中 部: 岩坂泰信
 関 西: 岡本利次, 水間満郎
 九 州: 井田秀治, 宮原三郎
 沖 縄: 大城繁三

4) 「気象集誌」編集

担当理事: 村上勝人, 松野太郎
 委 員: 二宮洸三, 佐藤信夫, 高橋 劭, 高島

勉, 山本 晋, 安成哲三, 余田成男,
 浅野正二, 権田武彦, 林 良一, 伊藤
 朋之, 加藤内蔵進, 木田秀次, 木村富
 士男, 近藤 豊, 宮原三郎, 文字信貴

5) 「気象研究ノート」編集

担当理事: 竹内清秀, 安田延寿

委 員: 坪田幸政, 住 明正, 河村 武, 安成
 哲三, 奥田 稔, 近藤洋輝, 内山明博,
 村上正隆, 青木忠生, 野口晋孝, 高野
 清治, 小柴 厚

5) 講演企画

担当理事: 木田秀次, 古賀晴成

委 員: 神沢 博, 笹野泰弘, 山本 晋, 吉崎
 正憲, 廣田道夫, 石原正仁, 甲斐憲次,
 藤部文昭, 山内豊太郎, 入田 央

7) 学会賞候補者推薦

担当理事: 武田喬男

委 員: 近藤純正, 瓜生道也, 新田 劭, 浅野
 正二

8) 藤原賞候補者推薦

担当理事: 岡村 存

委 員: 田中正之, 吉野正敏, 片山 昭, 新田
 尚

9) 奨励金候補者および各賞推薦

担当理事: 荒川正一, 村松照男

委 員: 伊藤久雄, 島貫 陸, 森 秀雄, 八木
 正允

10) 国際学术交流

担当理事: 岡村 存, 竹内清秀

委 員: 菊地勝弘, 田中正之, 吉野正敏, 浅井
 富雄, 松野太郎, 関口理郎, 片山 昭
 樋口敬二, 村山信彦, 立平良三, 浅田
 暢彦, 野瀬純一

11) 教育と普及

担当理事: 安田延寿, 木田秀次

委 員: 大関 誠, 北出寿江, 小松原茂美, 佐
 藤康雄, 島貫 陸, 鈴木宣直, 田宮兵
 衛, 永沢義嗣, 原嶋宏昌, 三浦郁夫,
 宮崎保彦, 二階堂義信, 能登正之

5. 日本気象学会支部役員

1) 北海道支部

支部長：秋山 勉

常任理事：花房龍男，菊地勝弘，菊地弘明，遠藤辰男

理事：伝法 宏，齊藤 実

会計監査：桜井兼市

幹事長：上田 博

幹事：生本 武，川野 浩，児玉裕二

2) 東北支部

支部長：吉田泰治

常任理事：田中正之，近藤純正，前田紀彦，角田東洋男

理事：内藤勲夫，北村 修，宮平經雄，工藤達也

幹事：佐藤 威，渡部好友，及川 武

3) 中部支部

支部長：黒沢真喜人

常任理事：樋口敬二，田中 浩，竹内利雄，渡辺正雄

理事：鈴木乙一郎（静岡地区），杉山清春（長野地区），中山芳雄（北陸地区）

会計監査：中村正孝

4) 関西支部

支部長：廣田 勇

常任理事：村松久史，文字信貴，松崎正夫，坂田俊夫，岡本利次，日谷道夫

理事：渡辺正雄，中野道雄（以上近畿地方）

正村敬三，宮田賢二（以上中国地方）

山本 晃，森 征洋（以上四国地方）

会計監査：小海 洋

5) 九州支部

支部長：多田利義

常任理事：井田秀治，瓜生道也，滝川雄壮，元田雄四郎

理事：小長俊二，鈴置哲朗

会計監査：守田 治

幹事：田平耕治

6) 沖縄支部

支部長：新田 尚

理事：岡林昌弘，仲吉良功，東江秀明，平岡秀康，恩納則光，仲本正隆，石島 英

中村 功

監事：宮良孫好

幹事：大城繁三，高嶺 武，仲原 満

(p 689 からつづく)

問題は、10日予報に海洋が影響することを示せないことです。ECMWF は、明確な使命（10日予報）を持った組織ですから、それ以外のことをするわけにはゆきません。

問：日本の気象学に対する印象はどうですか？

——日本は、米国に、居留地を持っている、という印象です。とりわけ、Dr. Miyakoda と Smagorinsky には、ECMWF 発足の折に、非常に世話になりました。UCLA の Arakawa さんも、モデルを提供するなど大いに助けてくれました。その他には、中谷先生の雪の結晶の本を覚えています。又、浅井・松野先生を始めとする様々の仕事も良く知っています。今や、気象集誌は、世界の中で最も重要な雑誌の一つになっていると思いま

す。その他、気象庁の数値モデリングや台風の予測に払った努力も大したものだと思います。

問：日本の人に云いたいことは？

——最近は、良く、日本の人を見かけるようになったと思います。数年前と較べると雲泥の差です。これは、非常に良いことだと思います。顔を知っていると、気軽に、手紙も書き易くなります。

☞全身これ ECMWF といった感じの interview でした。ECMWF 創業以来の大番頭といった感じです。しかし、データ同化作用に対する愛着と、その周辺の技術に対する知識の深さはなるほどと思わせるものがあります。日本の状況にも詳しく感じがありました。

(住 明正)